

# 連立方程式を解く（練習問題のデジタル化で「いつでも、何回でも」）

中学校  
2年

摂津市立第五中学校

教科

数学

単元名

連立方程式(加減法・代入法)

## 本時のねらい

連立方程式の問題を見て、「加減法」と「代入法」のどちらで解くのが効率が良いかを見極める。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

連立方程式の解き方は何通りもあることから、「ムーブノート」を活用し、1 人 1 台端末で解き方について全体共有することを目的としている。「自分の考え方」から「他者の考え方」を取り入れ、解き方について考え方の幅を広げる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 (iPad) ・マイシード「ムーブノート」 ・マイシード「オクリンク」 ・Google クラスルーム ・Google フォーム

## 本時の展開

| 学習の流れ         | 主な学習活動と内容  | ICT 活用のポイント・工夫   |
|---------------|--|--|
| 導入<br>(5 分)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○計算トレーニング(フラッシュカード形式)を全員で答える。</li> <li>○暗算トレーニングに取り組む (教員から送られたデータを端末に保存)</li> <li>ペアで問題・解答ページを開きながら暗算で答える。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員がプリントした問題を写真としてデータ化し、生徒の端末にデータを配付する。</li> <li>・ペアの一方が解答し、もう一方の生徒に正答であるか確認させる。</li> </ul>                               |
| 展開<br>(35 分)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○iPad 上で連立方程式の解き方を書き、「ムーブノート(広場)」にアップロードする。</li> <li>○「加減法」「代入法」どちらで解いたかを記入させる。</li> <li>○「ムーブノート(広場)」を見て、自分の考え方と異なる他者の解き方をノートに記入させる。</li> <li>○「オクリンク」で配付された練習問題を解く。</li> <li>○解き終わった練習問題を提出 BOX に送信する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・解き方がわかるようにしっかり途中の式までを書かせて「ムーブノート(広場)」にアップロードさせ、全体で共有する。</li> <li>・モニタリングで確認し、解き終わった生徒の iPad に解答を「オクリンク」で配付する。</li> </ul> |
| まとめ<br>(10 分) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の「まとめテスト」(Google フォーム)に取り組む。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の内容の到達度をはかる。</li> </ul>  |

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 : 計算トレーニングのプリントを iPad で行っている様子。

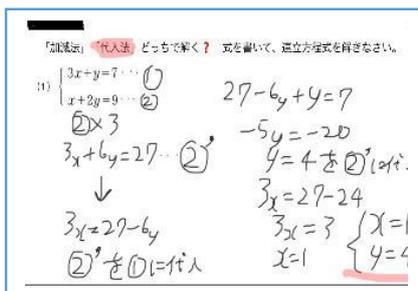


写真 2 : ミライシードのムーブノートに提出したカード。

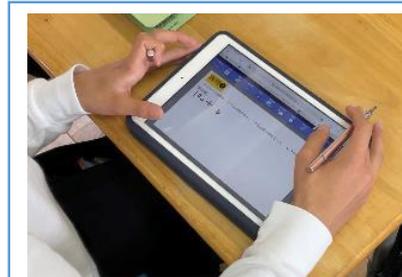


写真 3 : オクリンクで練習問題を解いている様子。

## 児童生徒の反応や変容

- ・他者の考え方を iPad 上で確認することにより、個人のペースで授業を進めることができるため、集中しやすい。
- ・ペアでの暗算トレーニングは iPad 上にデータ保存しているため、自習時間や家庭学習時においても、自ら取り組むことができる。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・iPad を活用した授業において、「素早く学びを共有できる」部分が効果的である。
- ・計算トレーニングのプリントは、習熟度別にデータ化して iPad 上に保管することで、「いつでも、何回でも」問題に取り組むことができ、一人ひとりの学習状況に応じた学習として、効果的である。